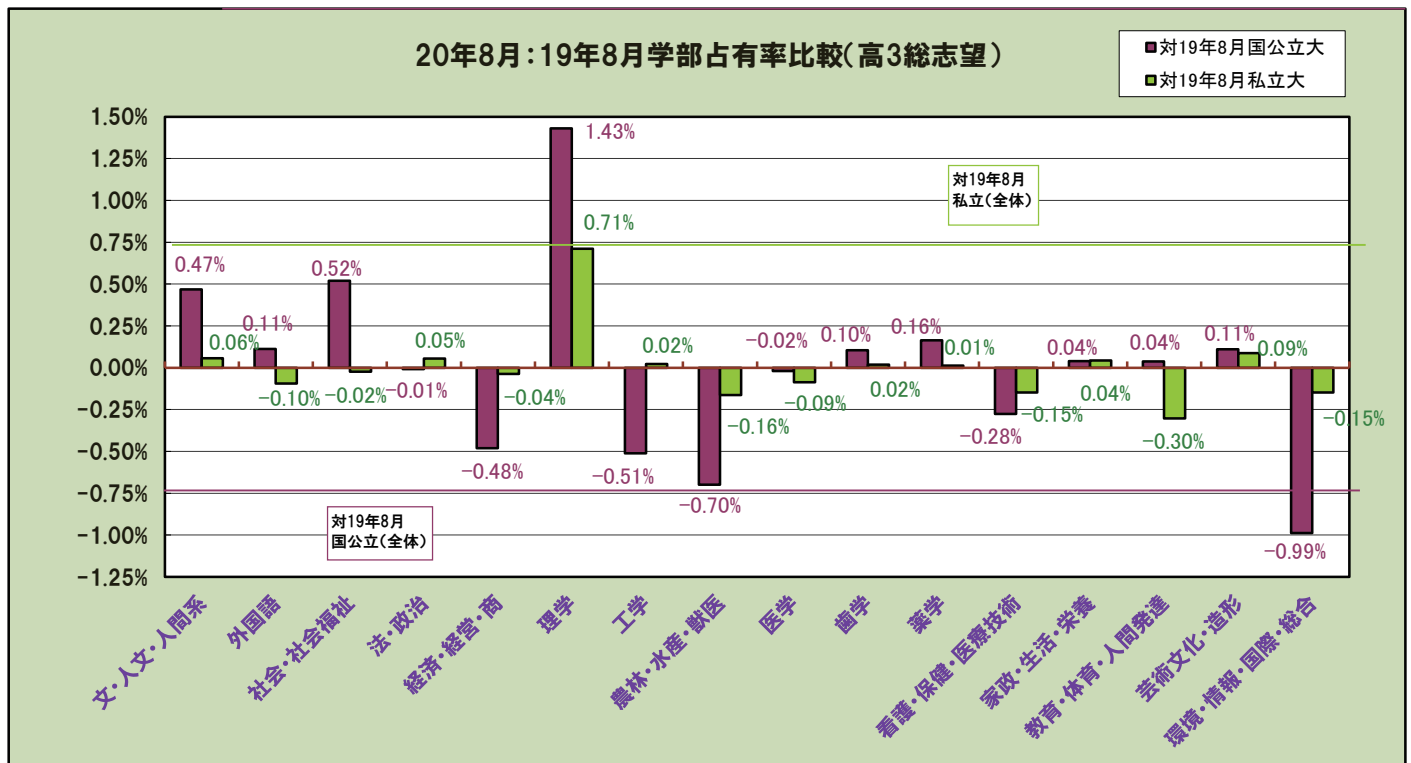


第3回 8月 共通テスト本番レベル模試

重要性が増す「共通テスト」 着実に学習を進め、リスク対応も！

8月23日（日）に実施した「第3回 8月 共通テスト本番レベル模試」の高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期の高3生の志望動向と比較した。（2019年は「第3回 8月 センター試験本番レベル模試」）
 昨年のこの時期を、先輩たちはどのような分野を大学で学びたいと考え、大学選びをしていたのだろうか。
 先行き不透明な状況ではあるものの、入試シーズンは確実に近づいてきている。各大学が公表している入学者選抜要項では、個別試験が実施できなかった場合、共通テストを合否判定に利用するとしている大学も多い。
 健康管理には十分に留意しつつ、共通テスト対策や志望大学の過去問演習等に取り組んでいこう。

【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



【学部系統別指数(設置区分別)】*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	108	100	103
外国語	109	96	100
社会・社会福祉	128	100	105
法・政治	100	101	101
経済・経営・商	96	100	99
理学	114	110	112
工学	101	103	102
農林・水産・獣医	87	93	89
医学	100	95	97
歯学	118	109	114
薬学	106	100	102
看護・保健・医療技術	96	97	97
家政・生活・栄養	104	102	103
教育・体育・人間発達	100	95	97
芸術文化・造形	116	107	110
環境・情報・国際・総合	84	98	93

■国公立大

新型コロナウイルスの影響で大学の授業がオンライン対応となる中、留学を卒業要件とする大学・学部は今年度の留学を中止、またはオンライン留学としている。近年、人気に陰りが見え始めていた国際系は、先行きの不透明感から不人気傾向が加速している。また、医療の最前線に立つ看護・保健・医療技術系も敬遠される傾向にある。
 農林・水産・獣医系も不人気傾向が継続している。

■私立大

国公立大学同様、国際系や看護・保健・医療技術系、農林・水産・獣医系のほか、近年不人気傾向にあり、学費の負担も大きい医学系も志望者を減らしている。
 一方で、今後の景気への不安感からか、理学や工学は人気傾向にある。特に、情報系は引き続き人気傾向にある。

※このデータは、2020年の「第3回 8月 共通テスト本番レベル模試」と2019年の「第3回 8月 センター試験本番レベル模試」について、大学の設置区分（国公立・私立）ごとに学部系統別の総志望者数（統一実施日受験の高3生・第6志望まで）から算出した割合を比較したものである。